

06、1、22(日)中日

(第3種郵便物認可)

コナラ林に休息ベンチ

荒池緑地で
児童ら

里山復元へ手作り

コナラの茂る林で子どもたちがベンチ作りなどをする「荒池こども森づくり」が二十一日、天白区の荒池緑地であった。市と市民団体「荒池ふ

るさとクラブ」が、同緑地内で昔の里山の復元に取り組む「荒池なごやかファーム構想」の一環として開いた。

この日の活動場所は、



ハンマーでかすがいを打ち込む子どもたち＝天白区の荒池緑地で

緑地内にある市農業センター南側のコナラ林。かつては竹が林立していたが、同クラブが昨秋、竹を伐採して約二千平方メートルの広場として整備した。

区が公募した小学生五人や保護者、同クラブのメンバーら約四十五人が参加。同クラブの指導で、子どもたちがベンチの形に組んだ木材に、ハンマーでかすがいを打ち込み、縦二枚、横一枚のベンチを作った。近くの竹林では間伐も体験した。

参加した平針小三年の国吉政宏君(ユシ)は「コナラ林は街中と違って気持ち良かった。また遊びに来たいと思った」と話していた。

(稲垣 時太郎)